

加茂学区まちづくり計画

～ 安心・安全で快適なふれあい豊かなまち 加茂 ～



井伏鱒二



窪田次郎



加茂学区まちづくり推進委員会

目 次

1	はじめに	2
	(1) 計画策定の目的	2
	(2) 計画の位置付け	2
	(3) 計画の期間	3
2	「協働のまちづくり」とは	3
3	加茂学区の概要	3
	(1) 加茂の地勢	3
	(2) 加茂の歴史	4
	(3) 加茂学区の町内会加入世帯数の推移	5
	(4) 加茂学区地区別町内会加入世帯数調べ	6
	(5) 加茂町の世帯数・人口の推移	6
	(6) 加茂町地区別年齢構成	7
	(7) 高齢化率の推移	7
	(8) 加茂学区内の公共施設	7
4	加茂学区の課題	8
5	加茂学区の将来像	8
6	加茂学区まちづくりの重点目標	9
7	分野別まちづくりの基本方針	9
	(1) 安心・安全	9
	(2) 福祉・健康	9
	(3) 教育・文化	10
	(4) 環境	10
	(5) 活力	11
	(6) その他	11
8	分野別のまちづくり事業	11
9	(仮称)「加茂学区危険箇所解消対策協議会」の設置	13
10	(仮称)「加茂学区内の公共施設のあり方を 考える会」の設置	14

資料編

1	計画策定の経過	15
2	加茂学区まちづくり計画策定委員会	17
3	まちづくりの推進体制	18
4	まちづくりアンケート調査結果報告	18
5	加茂学区まちづくりアンケート調査結果(抜粋)	19

1 はじめに

(1) 計画策定の目的

全国的に少子高齢化・人口減少社会が進展し、福山市においても、今後、現在と同じ市民サービスの提供を継続して受けることは困難な状況です。

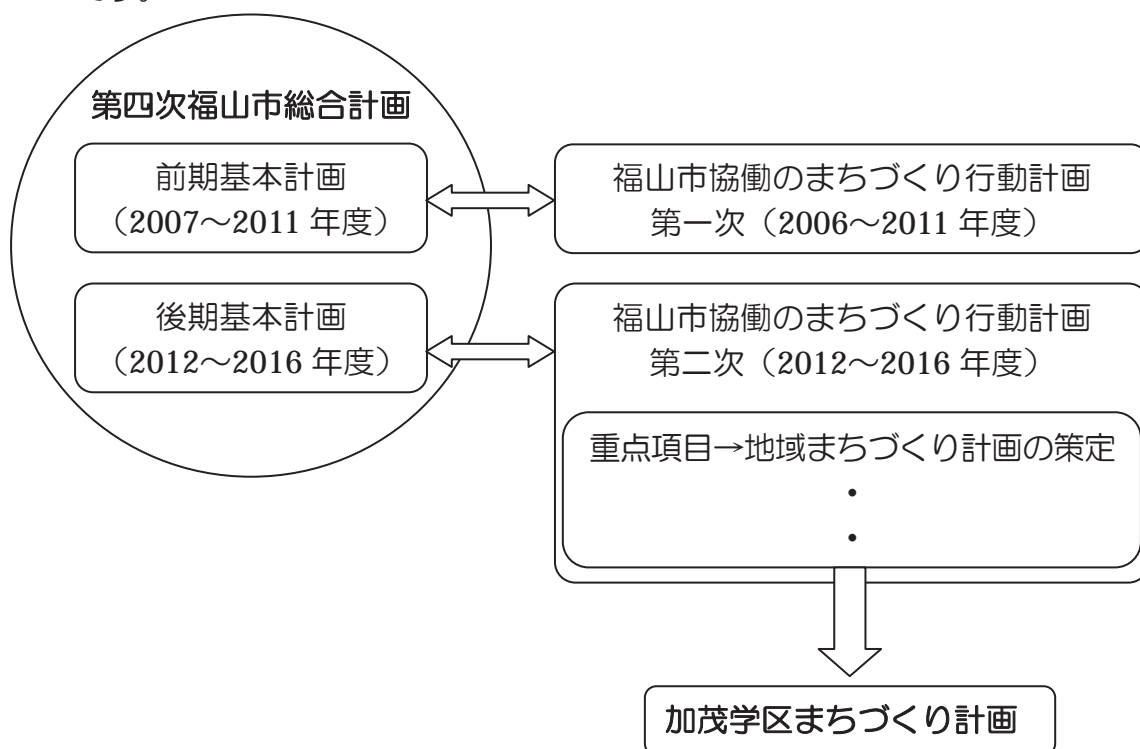
そういう中でも、私たちは「ずっと住み続けたい」、「住み続けることができる」持続可能なまちをつくっていかねばなりません。

そのために、この度、地域の皆様にご協力いただいたアンケート調査や、まちづくり座談会をとおしてお寄せいただいた加茂学区の現状や解決すべき課題などを地域の皆様が共有し、地域全体として取り組む際のよりどころとするために、加茂学区まちづくり推進委員会（作業チーム：加茂学区まちづくり計画策定委員会）が策定したものです。

(2) 計画の位置付け

福山市は、この度、市制施行100周年となる2016年度（平成28年度）に向け、どのような「まち」をめざしていくのか、そのためにどんなことに取り組んでいく必要があるのかなど、まちづくりの方向性や重点項目（3項目）を定めた「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を策定しました。

その行動計画の重点項目の中で、福山市が各学区（まちづくり推進委員会）に策定を求めているのが「地域まちづくり計画」（加茂学区まちづくり計画）です。



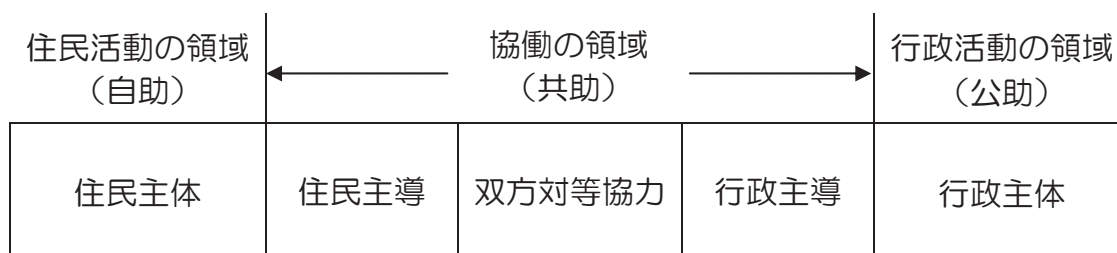
(3) 計画の期間

加茂学区まちづくり計画は、新しい地域づくりを実現するために2013年度（平成25年度）を初年度に、2022年度（平成34年度）までの10年間とします。ただし、社会経済情勢の変化や住民ニーズの変化等にも対応するため、必要に応じて見直すものとします。

2 「協働のまちづくり」とは（「協働」を理解する）

住民一人ひとりが、まちづくりの主役として、それぞれの特色や個性を活かし、お互いに責任と役割を分担しながら取り組む「自助」、「共助」、「公助」によるまちづくりをいいます。

住民と行政の関わり方については、一般的に下の図のように5つに分けて考えられます。すべてのことを協働で取り組むということではなく、協働で取り組むべき領域と、それぞれの責任と主体性によって行う領域に分けて考える必要があります。



3 加茂学区の概要

(1) 加茂の地勢

加茂学区は福山市の北部、北緯34度33分、東経133度20分に位置し、福山市街地の中心部より北に約14キロメートル、車で約30分程度の距離にある人口約11,000人の地域です。東は神辺町、西は駅家町、南は御幸町、北は山野町、神石高原町に接している36町内会を有する広大な地域で、いわゆる加茂谷は三方を山に囲まれ、その中を加茂川が流れ、中心部を南北に国道182号が、中心部から北東方向に主要県道加茂油木線が走っています。かつて加茂谷は農村地帯でしたが、近年、中小企業が生まれる一方で、大小の住宅団地ができ、田畑が宅地化されアパートなどが建ち並び住宅地となりつつあります。

加茂学区は、区域が広大であるがゆえに、子どもがほとんどいない高齢化率の高い準限界集落の町内会から、子どもが数百人もいる若年層の多い町内会まであります。

(2) 加茂の歴史

「加茂」という地名は、平安時代の864年（貞観6年）に京都上賀茂の賀茂別雷神社の分霊を加茂の里（現加茂町芦原の賀茂神社）に祭ったことから、この里を「加茂」と呼ぶようになりました。そして賀茂神社の前を流れる川を加茂川と名付けました。その流域には、北山、高雄、貴船、上加茂、下加茂など京都にゆかりのある地名が多くあり、小京都を思わせる土地がらになっています。1600年（慶長5年）、福島正則が安芸、備後の国を与えられ本格的な検地を行い、この時代から「村」の制度が確立し、粟根村、芦原村、中野村、上加茂村、北山村、下加茂村と呼ばれるようになりました。その後、元禄時代になって、八軒屋村、百谷村も誕生しました。その後、合併を繰り返し、1976年（昭和51年）現在のような加茂町になりました。

	1600 慶長 5	1619 元和 5	1688 貞享 4	1700 元禄 13	1710 宝永 7	1717 享保 2	1854 安政元	1871 明治 4
粟根村 東半分	芸備藩 福島領	福山藩 水野領	福山藩 水野領	福山藩 松平領	福山藩 阿部領	福山藩 阿部領	福山藩 阿部領	福山県
粟根村 西半分				天領	天領	天領		
芦原村								
中野村								
上加茂村				福山藩 松平領	福山藩 阿部領	福山藩 阿部領		
八軒屋村								
北山村	芸備藩 福島領	福山藩 水野領		天領	天領	中津領	中津領	中津領
百谷村								
下加茂村	芸備藩 福島領	福山藩 水野領		福山藩 松平領	福山藩 阿部領	福山藩 阿部領	福山藩 阿部領	福山県
法成寺村								
山野村								

	1872 明治 5	1884 明治 17	1889 明治 22	1941 昭和 16	1955 昭和 30	1956 昭和 31	1975 昭和 50	1976 昭和 51
栗根村 東半分	深津県	組合村	加茂村	加茂村	加茂町	加茂町	福山市 加茂町	福山市 加茂町
栗根村 西半分								
芦原村								
中野村								
上加茂村								
八軒屋村								
北山村		北山村	広瀬村	広瀬村				
百谷村		百谷村						
下加茂村		下加茂村	組合村	加法村	加法村			
法成寺村		法成寺村				駅家町	福山市 駅家町	福山市 駅家町
山野村				加茂町	加茂町	福山市 加茂町	福山市 山野町	

(3) 加茂学区の町内会加入世帯数の推移（町内会調べ）

2008 年度（平成 20 年度）	2,927 世帯
2009 年度（平成 21 年度）	2,913 世帯
2010 年度（平成 22 年度）	2,895 世帯
2011 年度（平成 23 年度）	2,913 世帯
2012 年度（平成 24 年度）	2,909 世帯

(4) 加茂学区地区別町内会加入世帯数調べ(2012年(平成24年)3月31日現在)

(単位；世帯)

地 区	世帯数
百谷・高山	55
苅光・四川・栗根	355
芦原	234
中野	695
加茂が丘	440
上加茂	232
八軒屋・深安団地	233
下加茂	665
合 計	2,909

(5) 加茂町の世帯数・人口の推移(住民基本台帳による)

(単位；世帯, 人, %)

	世帯数	増減	増加率	人口	増減	増加率
2008(H20).3.31	4,117	—	100.0	11,558	—	100.0
2009(H21).3.31	4,170	53	101.3	11,537	- 21	99.8
2010(H22).3.31	4,225	108	102.6	11,481	- 77	99.3
2011(H23).3.31	4,153	36	100.9	11,168	- 390	96.6
2012(H24).3.31	4,362	245	106.0	11,297	- 261	97.7

<注> 増減・増加率は、2008年(平成20年)3月31日現在に対する数字

(6) 加茂町地区別年齢構成（2012年（平成24年）12月末現在）

（単位；人）

地 区	0歳 ～19歳	20歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳以上		合 計	55歳以上
				小 計	構成比		
北山	67	108	24	131	39.7%	330	54.2%
高山・百谷	8	46	28	59	41.8%	141	68.1%
栗根	163	491	115	347	31.1%	1,116	47.5%
芦原	116	367	101	240	29.1%	824	50.5%
中野	584	1,240	268	632	23.2%	2,724	38.2%
上加茂	607	1,381	160	410	16.0%	2,558	28.6%
八軒屋・深安団地	167	467	90	171	19.1%	895	34.7%
下加茂	601	1,445	249	696	23.3%	2,991	37.2%
合 計	2,313	5,545	1,035	2,686	23.2%	11,579	38.1%

< 注 > 北山地区は広瀬学区を含む。

< 参考 > 55歳以上の人口が50%を超えると「準限界集落」

(7) 高齢化率の推移（住民基本台帳による）

	福山市全体	加茂町
2008.3.31	21.4%	20.6%
2009.3.31	22.0%	21.2%
2010.3.31	22.6%	21.9%
2011.3.31	22.7%	21.9%
2012.3.31	23.4%	22.6%

< 注 > 広瀬学区を含む。

< 参考 > 高齢化率：65歳以上の高齢者の人口に占める割合

(8) 加茂学区内の公共施設

まちづくりの拠点である加茂学区内の公共施設は、老朽化が著しいものや、公用廃止が決定され、今後の利活用が課題となっている施設もあります。

- 福山市民病院附属加茂診療所（2013年（平成25年）3月末で公用廃止）
- 福山市加茂支所
- 福山市加茂福祉会館
- 福山市加茂公民館
- 福山市加茂コミュニティセンター
- 福山市加茂ふれあいプラザ
- 福山市加茂小学校
- 福山市加茂中学校
- 福山市旭保育所
- 福山市加茂保育所
- 福山市ふたば保育所

4 加茂学区の課題（加茂学区まちづくり推進委員会から見た課題）

今まで加茂学区まちづくり推進委員会が取り組んできた活動の中で明らかになった主な課題は、次のとおりです。

- (1) 加茂学区は非常に広域であり、準限界集落（55歳以上の割合が50%以上の集落）と子どもが非常に多い住宅団地が混在し、学区全体としてのまちづくりができにくいため、実態に即した対策が必要である。
- (2) 公用廃止が決定された公共施設や老朽化した公共施設の今後のあり方は、まちづくりにとって大変重要な問題であり、加茂学区としての考えをまとめるための議論が必要である。
- (3) まちづくり事業が固定化傾向にあり、まちづくり推進委員会の各部会で検討が必要である。
- (4) 自治会連合会とまちづくり推進委員会との連携強化が切望される。
- (5) 住民へ「協働のまちづくり」の意義について周知を図る必要がある。

5 加茂学区の将来像（アンケート調査・まちづくり座談会の結果から）

特に、地震・火災・事件・事故・災害など、もしものとき子ども・高齢者・障がい者に対する対策や、住民同士のふれあいの必要性などが課題となっています。

こうした課題の解決に向け取り組むことは、市民一人ひとりが大切にされ、住みやすさが保障される都市をめざす「福山市のまちづくりの基本理念」にも沿うものです。

従って、加茂学区でも、住民一人ひとりが大切にされ、住みやすい地域となるよう、めざすべきまちづくりの将来像を、次のとおり掲げて取り組んでまいります。

「安心・安全で快適なふれあい豊かなまち 加茂」

6 加茂学区まちづくりの重点目標

今後、加茂学区まちづくり推進委員会は、住民の皆様のご意見をふまえ、特に、次の項目に重点をおいたまちづくりに取り組んでまいります。

- (1) 高齢者・障がい者福祉の充実、健康づくり（アンケート結果 24.4%）
- (2) 防災・防犯・交通安全対策（アンケート結果 21.5%）
- (3) 子育て支援（アンケート結果 12.2%）

7 分野別まちづくりの基本方針

加茂学区まちづくり推進委員会が取り組む事業は、「4」加茂学区の課題及び「6」加茂学区まちづくりの重点目標をふまえ、次の分野ごとに取り組んでまいります。

なお、これらの取り組みに際しては、自治会連合会をはじめ関係団体が緊密な連携を図ってまいります。

(1) 安心・安全

車社会の進展により高齢者や子どもが交通事故に遭遇する危険が増大し、通学路の危険箇所も指摘されています。そうした中、地域の宝である子どもを安心して育てられるような地域をめざしてまいります。

また、高齢化社会の進展と核家族化による高齢者を取り巻く状況が厳しさを増し、災害発生時の不安が高まっているので、地震・火災・風水害などに対する地域実態に即した防災・減災対策に取り組んでまいります。

(2) 福祉・健康

高齢者・障がい者・子どもに対する取り組みは、地域実態をふまえ、声かけ、見守り活動など地域全体で取り組む必要があります。

また、健康は自分で守ることを基本に、学区内の公共施設を有効活用しながら健康づくりや助け合う地域づくりをめざしてまいります。



(グラウンドゴルフ大会)

(3) 教育・文化

加茂谷には多くの古墳や史跡があり、井伏鱒二や窪田次郎など日本を代表する偉人を輩出したまちです。このような歴史と伝統・文化のある加茂を見つめ直し、先人たちの温かい心や努力に共感できるものを見付け、家庭や地域の教育力の向上を図り、郷土を愛する心を育む取り組みをしてまいります。



(加茂知っとの検定)

(4) 環境

自然と環境に配慮した取り組みは、いまや地球規模の課題であり、美化・ごみ対策、自然環境への取り組みを地域の中でできる小さなことから推進してまいります。

また、加茂は、昔から住民や行き交う人々の心に安らぎを与えるために、花いっぱい運動が続けられ高い評価を受けており、引き続き取り組んでまいります。



(花いっぱい運動)



(5) 活力

住民同士のふれあいが希薄になる中、明るく住みよい地域とするため、加茂ふれあい文化祭をはじめ、様々なイベントや行事をとおして賑わいと活力ある地域をめざしてまいります。



(加茂ふれあい文化祭)

(6) その他

この5分野以外に、加茂学区としての重要な課題の解決に取り組んでまいります。

8 分野別のまちづくり事業

分野	事業名又は事業内容	誰が行うのか			目標達成期間		
		学区	協働	行政	短期	中期	長期
安心 ・ 安全	防災訓練		○		○		
	防犯対策		○			○	
	交通安全対策		○			○	
	危険箇所の改善	「9」(仮称)加茂学区危険箇所解消対策協議会で検討					
	学区見守り活動	○				○	
	救命救急法講習会		○		○		

分野	事業名又は事業内容	誰が行うのか			目標達成期間		
		学区	協働	行政	短期	中期	長期
福祉 ・ 健康	スポーツを通じた健康づくり		○		○		
	高齢者が多くの人とふれあえる場の提供		○				○
	ふれあい友愛活動		○		○		
	一人暮らし高齢者の見守り活動	○			○		
	障がい者に対する相談支援の充実		○				○
	成年後見制度の理解と推進			○			○
	健康づくり講座		○			○	
教育 ・ 文化	学校・家庭・地域が連携できる組織づくり		○			○	
	加茂谷の史跡めぐり		○		○		
	加茂知っとる検定		○		○		
	お年寄りをお招きする会		○		○		
	児童との世代間交流会		○		○		
	芸術鑑賞会		○		○		
	しめ縄づくり		○		○		
環境	子ども会書道大会		○		○		
	加茂川の一斉清掃		○		○		
	全市一斉清掃		○		○		
	花いっぱい運動		○		○		
	家庭ごみの分別の周知徹底		○			○	
	飼い犬の糞の処理対策		○			○	
ごみの野焼き防止対策		○			○		

分野	事業名又は事業内容	誰が行うのか			目標達成期間		
		学区	協働	行政	短期	中期	長期
活力	加茂ふれあい文化祭		○		○		
	親子が楽しめるイベント開催		○			○	
その他	公共施設のあり方を考える	「10」（仮称）加茂学区内の公共施設のあり方を考える会で検討					
	まちづくり功労者表彰		○		○		
	「協働のまちづくり」のPR		○		○		

<参考>

◎「誰が行うのか」の欄

学区：加茂学区まちづくり推進委員会が主体性と責任をもって行う。

協働：加茂学区まちづくり推進委員会と行政（国・県・市など）が協力して行う。

行政：行政（国・県・市など）の主体性と責任において行う。

◎「目標達成期間」の欄

短期：概ね3年以内に達成

中期：概ね5年以内に達成

長期：概ね10年以内に達成

9 （仮称）「加茂学区危険箇所解消対策協議会」の設置

この度のアンケート調査で、加茂学区には危険箇所が、次のとおり18箇所（アンケート調査で2件以上出された箇所を抽出）あることが分かりました。この危険箇所の中には、地域でも課題として一定の取り組みをしているところもありますが、その原因が必ずしもハード面だけではなく、例えば、足形マーク、通学路の見直しなどソフト面の取り組みで相当程度解決できるものもあります。これら危険箇所のほとんどが県・市などの行政機関や地域の関係団体等とのかかわりも深く、加茂学区としての考え方を統一して課題解決を図る必要があります。そのために、まちづくり推進委員会としては、自治会連合会、土木常設員、交通安全自治会、小・中学校 PTA 等で組織するみだしの会を設置していただき、その中でまとめられた解決策を、加茂学区まちづくり計画の解決策にすることが最善であると判断いたしました。

加茂学区内の危険箇所一覧表

1	広瀬別れは高速走行の車があり危険
2	「栗根ホットスパー」交差点に信号機又はカーブミラーが必要
3	「妙永寺」付近は道路がカーブし、見えづらいうえ、高速走行の車が多く危険（事故も数件発生）
4	県道加茂油木線（特に、苅光から芦原）は、高速走行の車が多く、通学路としても大変危険
5	四川別れ交差点に信号が必要
6	加茂支所前は、高速走行の車が多く、通学時には危険
7	竹の下橋西詰は、カーブミラーはあるが見えづらく危険
8	「理髪店ボウ」のある交差点に信号機が必要
9	中野第二公園前は歩道もなく、高速走行の車が多く、通勤時間帯は特に危険
10	「せんだんの家」付近の見通しの悪いカーブと抜け道になっている加茂が丘団地内の高速走行車両が危険
11	「柳本」の前へ横断歩道が必要
12	市道中野八軒屋線は国道の迂回路となり、通学時間帯は高速走の車が多く、特に危険。時間制限を
13	「ハート」へ出入りする車、幼稚園へ出入りする車は特に危険（死亡事故あり）
14	中学校西交差点は、工業団地から下ってくる高速走行の車が多く、非常に危険（事故多発）
15	「マルナカ」からローソンまでの通りは交通量が多く、歩道もないので危険。また通学路となっていてところも危険
16	ふたば大橋南の横断歩道は危険、通学路の見直しが必要
17	キングパーツから東へ向かう道路は、高速走行の車により通学時は、特に危険
18	菊末橋西詰交差点は、バス道路に飛び出しがあり危険

10 （仮称）「加茂学区内の公共施設のあり方を考える会」の設置

加茂学区内の公共施設は、老朽化したものが多く、その中には2013年（平成25年）3月で公用廃止された市民病院附属加茂診療所もあります。福山市の公共施設のあり方は、複合化・転用・長寿命化・法人移管などとしており、更に、利用を廃止した公共施設は売却処分を基本としています。そういう中で、特に、旧市民病院附属加茂診療所の今後のあり方を考えることは、協働のまちづくりを進めるうえで大変重要であり、喫緊の課題です。

従って、まちづくり推進委員会としては、自治会連合会をはじめ関係団体等で組織するみだしの会を早急に設置していただき、その中でまとめられた考え方を、加茂学区まちづくり計画の考え方にするのが最善であると判断いたしました。

資料編

1 計画策定の経過

2012年（平成24年）

- 3/16 まちづくり推進委員会事務局会
「地域まちづくり計画」の必要性について
- 3/30 まちづくり推進委員会役員会
2012年度中に計画策定について基本合意
- 5/10 まちづくり推進委員会総会
計画策定について原案どおり承認
- 5/23 人権啓発推進協議会三役会
組織として計画策定に加わることに基本合意
- 6/ 5 加茂学区まちづくり計画策定委員会立ち上げ（第1回策定委員会）
- 6/13 人権啓発推進協議会役員・事務局会
三役会の案を承認
- 6/27 人権啓発推進協議会推進委員会
役員・事務局会の案を承認
- 7/ 4 第2回
加茂学区まちづくり計画策定委員会
アンケート調査項目について検討
- 7/31 第3回
加茂学区まちづくり計画策定委員会
・ アンケート調査の内容精査
・ まちづくり座談会について
- 8/ 9 第4回
加茂学区まちづくり計画策定委員会
・ アンケート調査項目の最終点検
・ まちづくり座談会について
・ 今後のスケジュール
- 8/24 アンケート調査用紙完成（業者印刷）
- 8/30 まちづくり推進委員会役員会
アンケート調査用紙完成の報告と今後のスケジュールについて
- 9/ 3 まちづくり座談会説明会（在住行政職員の会役員対象）
「協働のまちづくり」及び「まちづくり座談会」について説明



- 9/ 5 まちづくり推進委員会, 人権啓発推進協議会合同講演会
福山市立大学 都市経営学部 前山総一郎教授
テーマ・・・「地域まちづくり計画策定の必要性」
(加茂福社会館)



まちづくり推進委員会・人権啓発推進協議会
合同説明会(第1回目)

- ・ 「まちづくりアンケート調査」及び
「まちづくり座談会」の取り組みについて
- ・ アンケート用紙全戸配布(町内会長経由)

- 9/26 まちづくり推進委員会・人権啓発推進協議会合同会議
- ・ 「協働のまちづくり」及び「まちづくり座談会」についての説明会(第2回目)
 - ・ 会場ごとに当日の役割分担, 座談会の進め方等協議

- 9/15~11/10
全町内会でアンケート調査実施
回収率84.8% 2,466件



- 12/11~12/27
アンケート調査集計のための
パソコン入力(延べ約160時間)



2013年(平成25年)

- 1/23 第5回
加茂学区まちづくり計画策定委員会
今後の具体的な素案策定方針協議
- 1/30 第6回
加茂学区まちづくり計画策定委員会
福山市立大学前山教授の指導により
まちづくり計画の策定方針決定
- 2/11 第7回
加茂学区まちづくり計画策定委員会
「加茂学区まちづくり計画」(素案)検討
- 2/20 第8回
加茂学区まちづくり計画策定委員会
「加茂学区まちづくり計画」(素案)検討
- 3/ 7 まちづくり推進委員会青少年健全育成部会
「加茂学区まちづくり計画」(素案)審議
- 3/11 まちづくり推進委員会安全・環境部会
「加茂学区まちづくり計画」(素案)審議



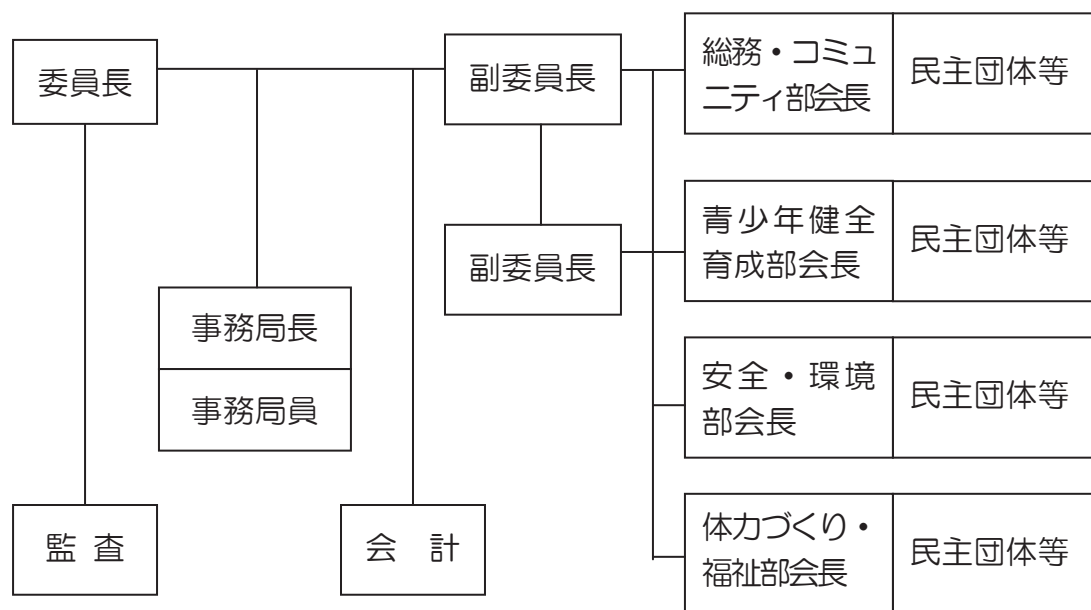
- 3/15 まちづくり推進委員会総務・コミュニティ部会
「加茂学区まちづくり計画」(素案) 審議
- 3/18 まちづくり推進委員会体力づくり・福祉部会
「加茂学区まちづくり計画」(素案) 審議
- 4/30 まちづくり推進委員会役員会
「加茂学区まちづくり計画」(素案) 審議
- 5/30 まちづくり推進委員会総会
「加茂学区まちづくり計画」承認



2 加茂学区まちづくり計画策定委員会

役 職	名 前	所 属
委員長	藤本 健治	加茂公民館
委 員	大田 一三	まちづくり推進委員会事務局会
	井伏 良一	まちづくり推進委員会事務局会
	松田 勝一	まちづくり推進委員会事務局会
	井上 利太	まちづくり推進委員会事務局会
	三好 正忠	まちづくり推進委員会事務局会
	戸田 琢磨	まちづくり推進委員会事務局会
	江種 晃生	まちづくり推進委員会事務局会
	矢吹 泰三	在住行政職員の会
	西田 敬三	在住行政職員の会
	藤井 重成	在住行政職員の会
	今岡 孝之	在住行政職員の会
事務局員	岸本 貴延	北部生涯学習センター
	河口 利夏	まちづくり推進委員会事務局会
	中村由加里	まちづくり推進委員会事務局会

3 まちづくりの推進体制



4 まちづくりアンケート調査結果報告

「加茂学区まちづくり計画」策定のためのまちづくりアンケート調査は、2012年（平成24年）9月～11月に加茂学区の町内会加入世帯2,909世帯のうち2,466世帯（回収率84.8%）の方々にご協力いただき実施しました。

この調査結果は、「加茂学区まちづくり計画」を策定する際の基礎資料として使用したもので、この資料編に主要なものを掲載させていただきました。地域の皆様からの広範かつ多様なご意見は、可能な限りその趣旨を計画書に盛り込んでいますが、すべてのご意見を計画書に反映させることができなかつたことをご了承いただきたいと思ひます。

なお、全項目のアンケート調査結果は、各町内会長にお渡ししてありますので、ご活用いただければ幸いです。

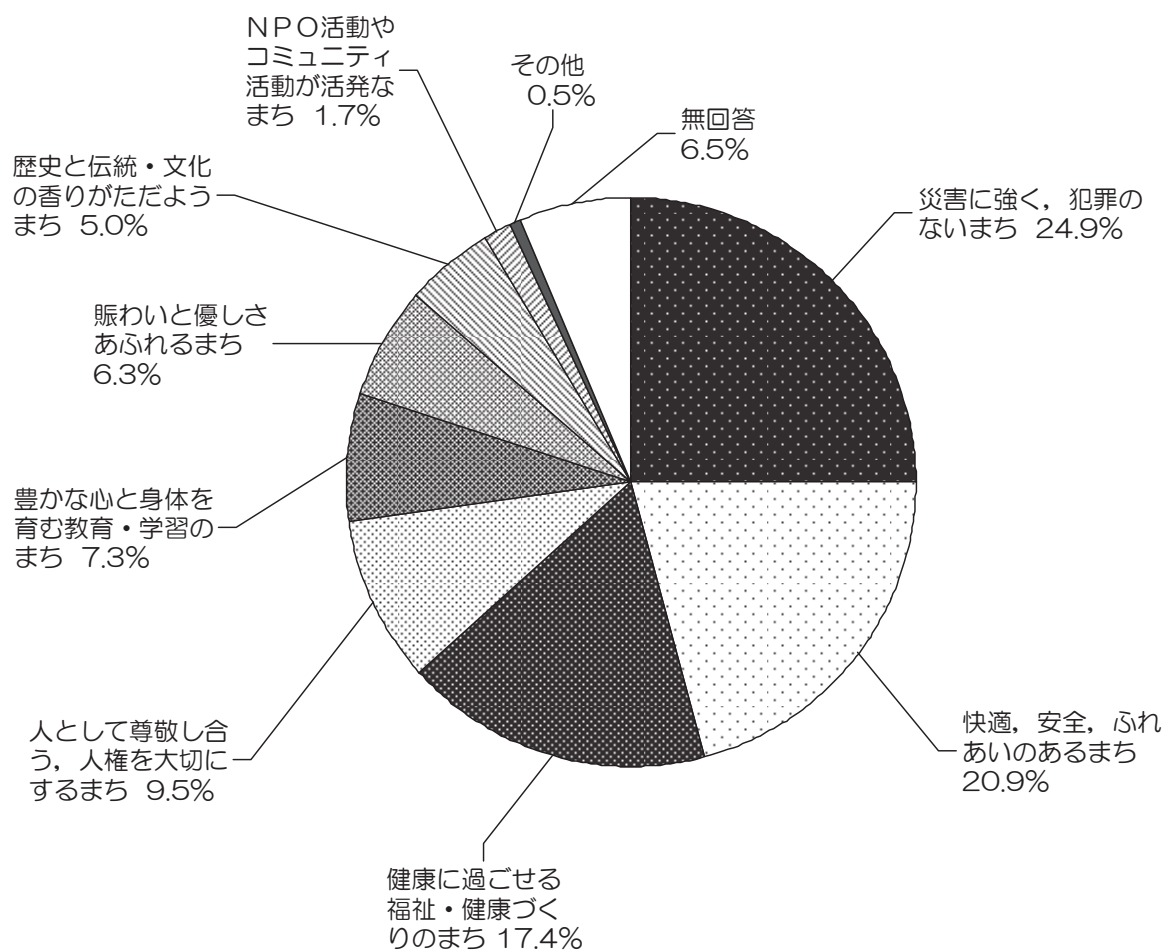
皆様のご協力に対し深く感謝申し上げます。

加茂学区まちづくり計画策定委員会

5 加茂学区まちづくりアンケート調査結果報告（抜粋）

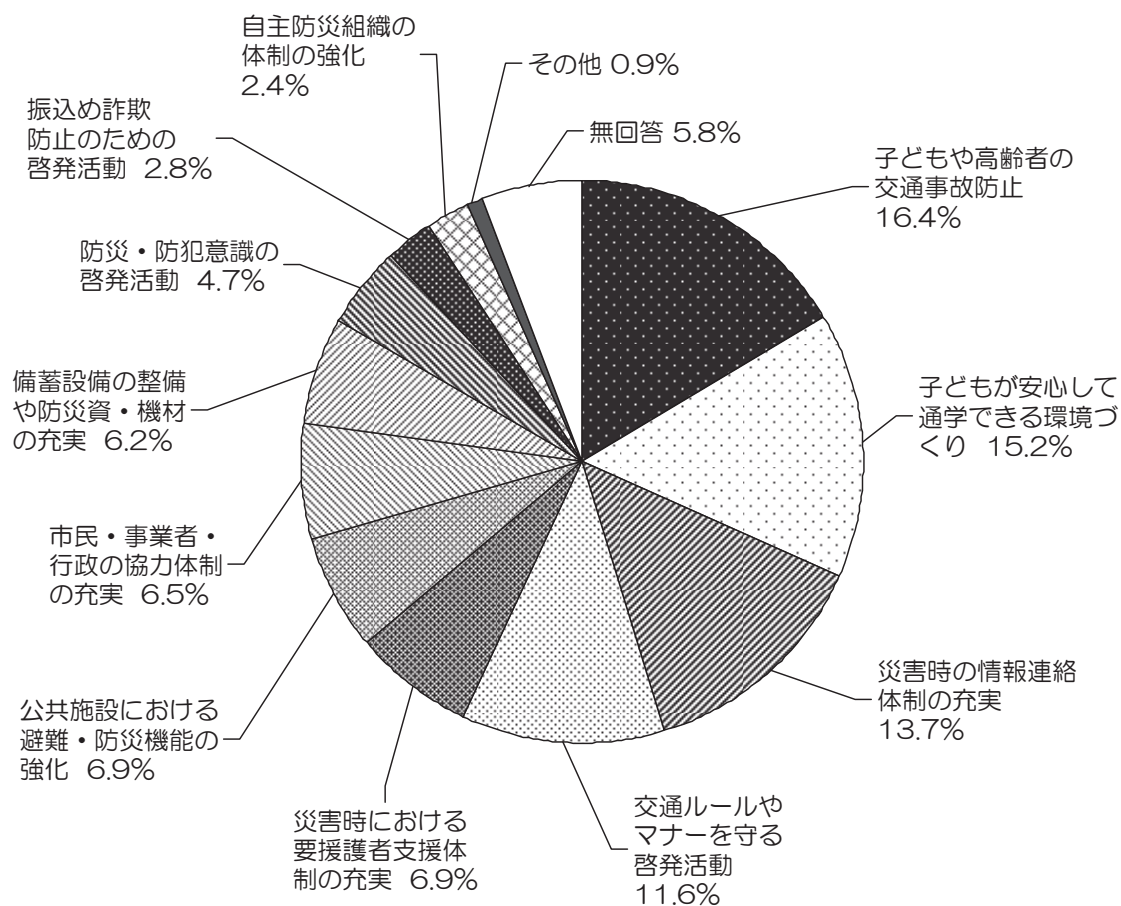
あなたの地域が将来、どのようなまちであって欲しいと考えますか

選択項目	回答数	構成比
(1) 災害に強く、犯罪のないまち	1,079	24.9%
(2) 快適、安全、ふれあいのあるまち	907	20.9%
(3) 健康に過ごせる福祉・健康づくりのまち	755	17.4%
(4) 人として尊敬し合う、人権を大切にするまち	414	9.5%
(5) 豊かな心と身体を育む教育・学習のまち	315	7.3%
(6) 賑わいと優しさあふれるまち	273	6.3%
(7) 歴史と伝統・文化の香りがただようまち	215	5.0%
(8) NPO活動やコミュニティ活動が活発なまち	74	1.7%
(9) その他	21	0.5%
無回答	282	6.5%
計	4,335	100.0%



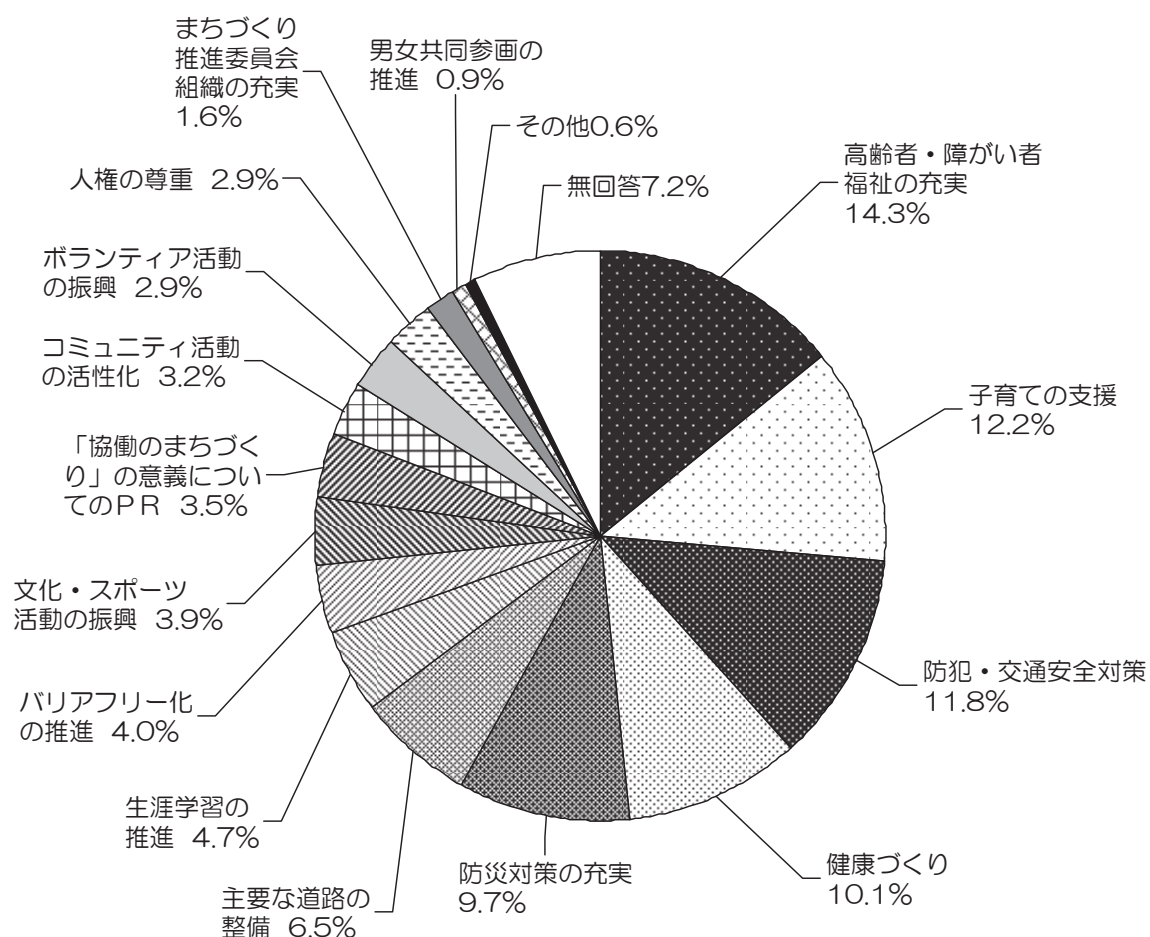
安心・安全のために、重点的に取り組むべきものは何だと思えますか。

選択項目	回答数	構成比
(1) 子どもや高齢者の交通事故防止	736	16.4%
(2) 子どもが安心して通学できる環境づくり	685	15.2%
(3) 災害時の情報連絡体制の充実	616	13.7%
(4) 交通ルールやマナーを守る啓発活動	520	11.6%
(5) 災害時における要援護者支援体制の充実	311	6.9%
(6) 公共施設における避難・防災機能の強化	308	6.9%
(7) 市民・事業者・行政の協力体制の充実	294	6.5%
(8) 備蓄設備の整備や防災資・機材の充実	279	6.2%
(9) 防災・防犯意識の啓発活動	211	4.7%
(10) 振込め詐欺防止のための啓発活動	126	2.8%
(11) 自主防災組織の体制の強化	108	2.4%
(12) その他	41	0.9%
無回答	259	5.8%
計	4,494	100.0%



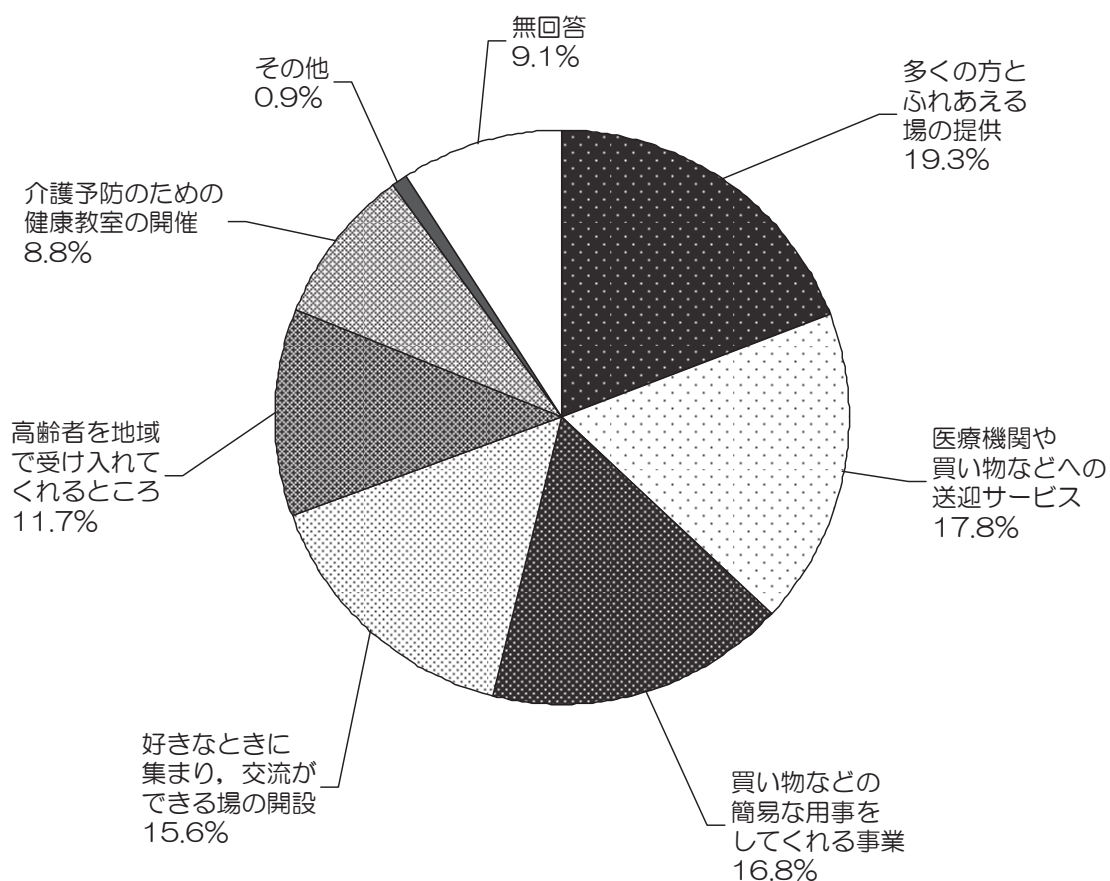
今後、あなたの地域は、特にどのような取り組みを優先的に進めることが必要だと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
(1) 高齢者・障がい者福祉の充実	830	14.3%
(2) 子育ての支援	711	12.2%
(3) 防犯・交通安全対策	686	11.8%
(4) 健康づくり	586	10.1%
(5) 防災対策の充実	562	9.7%
(6) 主要な道路の整備	381	6.5%
(7) 生涯学習の推進	274	4.7%
(8) バリアフリー化の推進	236	4.0%
(9) 文化・スポーツ活動の振興	224	3.9%
(10) 「協働のまちづくり」の意義についてのPR	204	3.5%
(11) コミュニティ活動の活性化	184	3.2%
(12) ボランティア活動の振興	168	2.9%
(13) 人権の尊重	167	2.9%
(14) まちづくり推進委員会組織の充実	93	1.6%
(15) 男女共同参画の推進	55	0.9%
(16) その他	33	0.6%
無回答	418	7.2%
計	5,812	100.0%



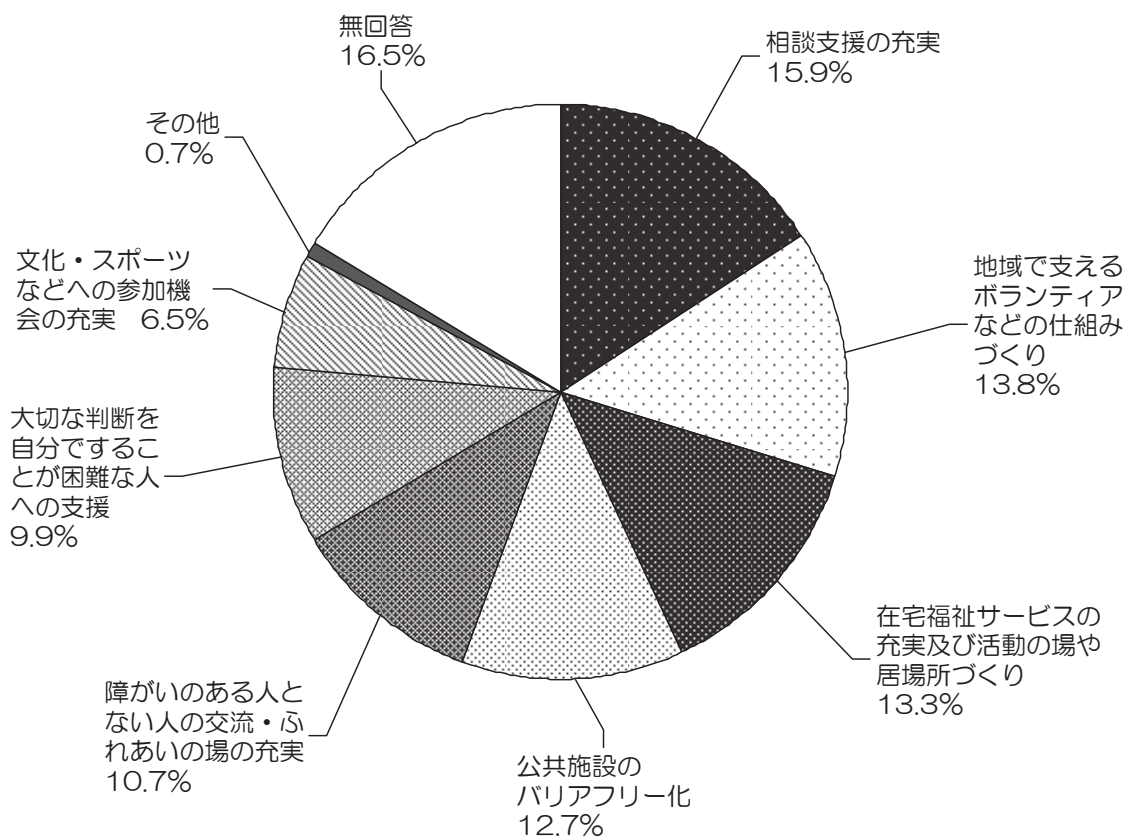
高齢者にとって、どんな事業があれば良いと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
(1) 多くの方とふれあえる場の提供	851	19.3%
(2) 医療機関や買い物などへの送迎サービス	786	17.8%
(3) 買い物などの簡易な用事をしてくれる事業	742	16.8%
(4) 好きなときに集まり，交流ができる場の開設	690	15.6%
(5) 高齢者を地域で受け入れてくれるところ	515	11.7%
(6) 介護予防のための健康教室の開催	391	8.8%
(7) その他	40	0.9%
無回答	402	9.1%
計	4,417	100.0%



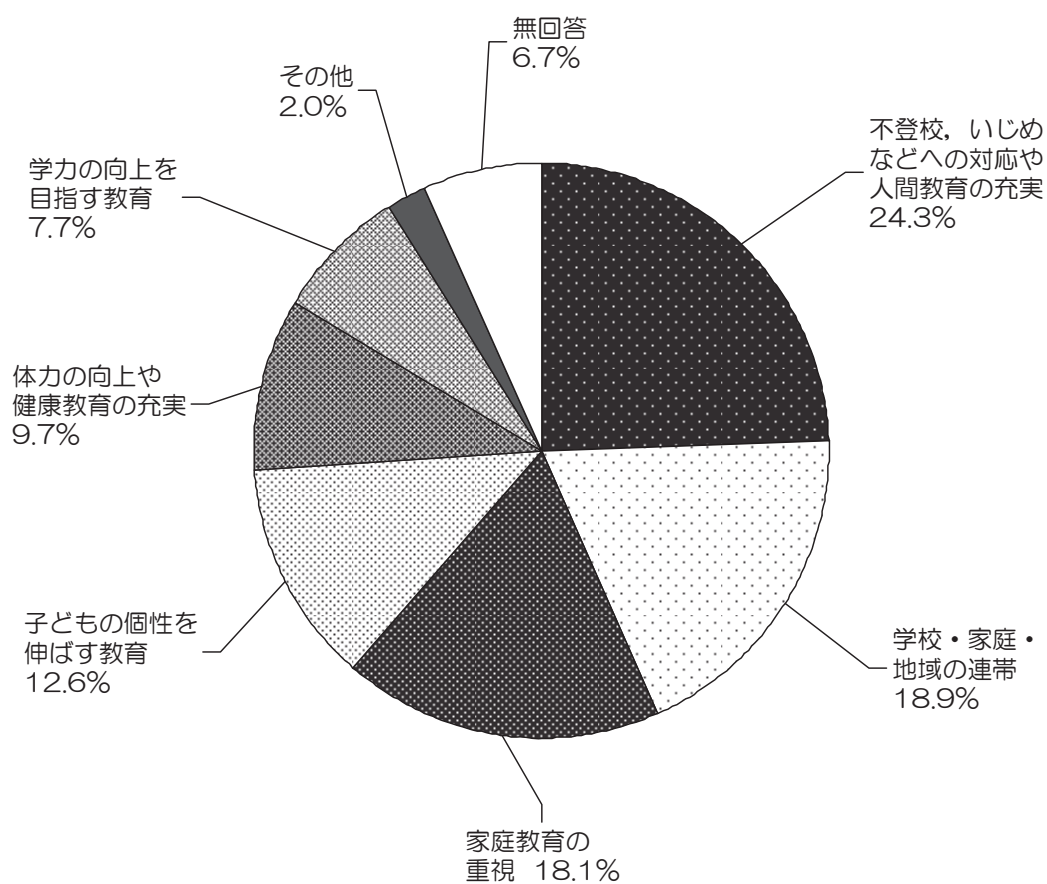
障がい者にとって、どんな事業があれば良いと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
(1) 相談支援の充実	608	15.9%
(2) 地域で支えるボランティアなどの仕組みづくり	528	13.8%
(3) 在宅福祉サービスの充実及び活動の場や居場所づくり	510	13.3%
(4) 公共施設のバリアフリー化	486	12.7%
(5) 障がいのある人とない人の交流・ふれあいの場の充実	411	10.7%
(6) 大切な判断を自分ですることが困難な人への支援	380	9.9%
(7) 文化・スポーツなどへの参加機会の充実	247	6.5%
(8) その他	28	0.7%
無回答	632	16.5%
計	3,830	100.0%



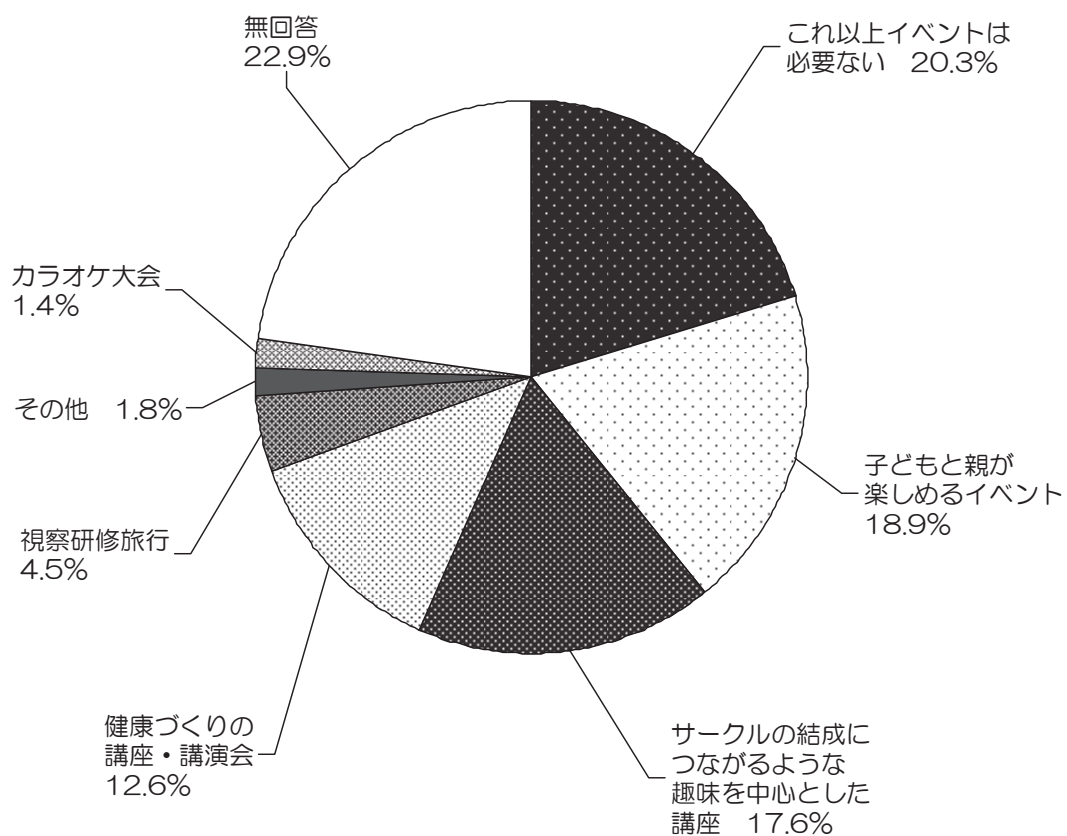
子どもたちに学校や地域は、何に力を入れるべきだと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
(1) 不登校、いじめなどへの対応や人間教育の充実	1,042	24.3%
(2) 学校・家庭・地域の連帯	810	18.9%
(3) 家庭教育の重視	774	18.1%
(4) 子どもの個性を伸ばす教育	540	12.6%
(5) 体力の向上や健康教育の充実	414	9.7%
(6) 学力の向上を目指す教育	328	7.7%
(7) その他	87	2.0%
無回答	289	6.7%
計	4,284	100.0%



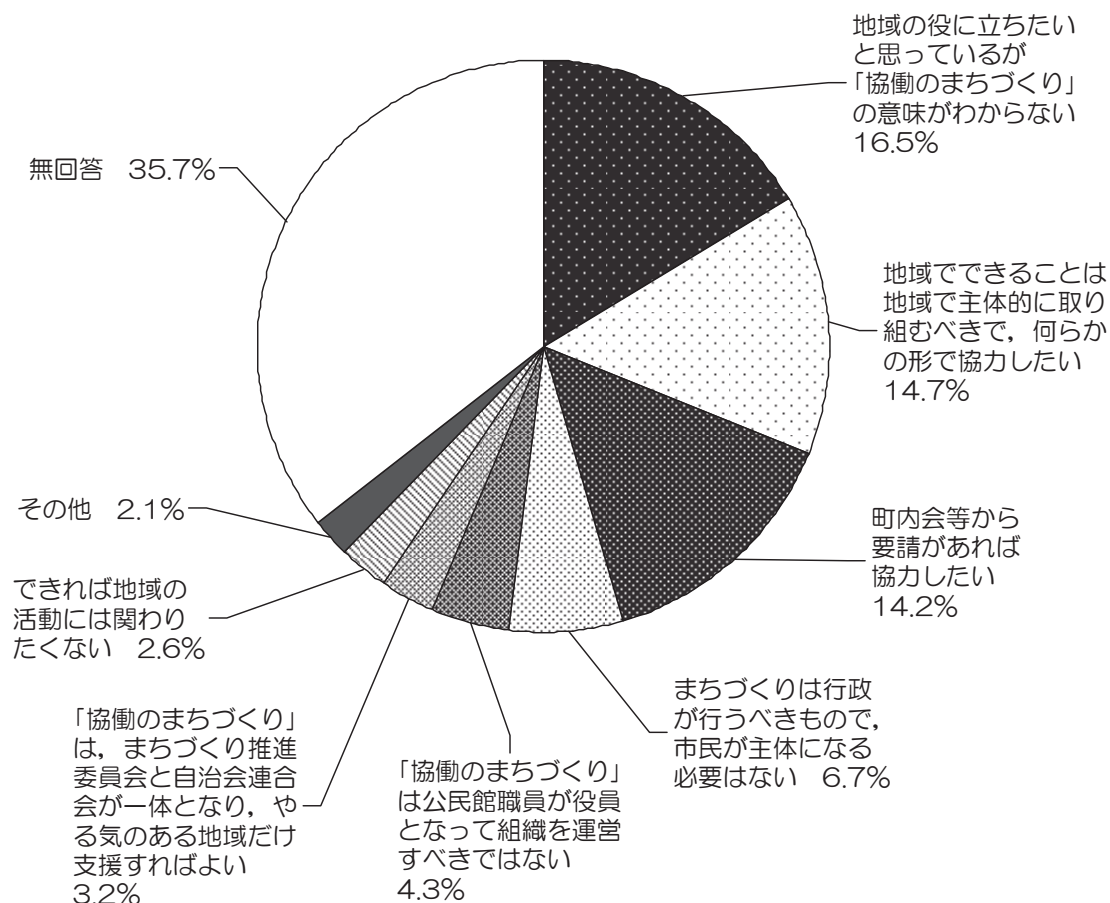
加茂学区にどのようなイベントや事業があれば良いと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
(1) これ以上イベントは必要ない	541	20.3%
(2) 子どもと親が楽しめるイベント	504	18.9%
(3) サークルの結成につながるような趣味を中心とした講座	469	17.6%
(4) 健康づくりの講座・講演会	337	12.6%
(5) 視察研修旅行	121	4.5%
(6) その他	47	1.8%
(7) カラオケ大会	38	1.4%
無回答	611	22.9%
計	2,668	100.0%



「協働のまちづくり」についてどう思いますか。

選択項目	回答数	構成比
(1) 地域の役に立ちたいと思っているが「協働のまちづくり」の意味がわからない	450	16.5%
(2) 地域でできることは地域で主体的に取り組むべきで、何らかの形で協力したい	402	14.7%
(3) 町内会等から要請があれば協力したい	388	14.2%
(4) まちづくりは行政が行うべきもので、市民が主体になる必要はない	181	6.7%
(5) 「協働のまちづくり」は公民館職員が役員となって組織を運営すべきではない	118	4.3%
(6) 「協働のまちづくり」は、まちづくり推進委員会と自治会連合会が一体となり、やる気のある地域だけ支援すればよい	87	3.2%
(7) できれば地域の活動には関わりたくない	71	2.6%
(8) その他	58	2.1%
無回答	974	35.7%
計	2,729	100.0%





猪の子古墳



石鎚山古墳

加茂学区まちづくり計画

2013年（平成25年）5月
加茂学区まちづくり推進委員会

